

京都府豚コレラ^{とん}警戒本部会議資料

農 林 水 産 部

1 豚コレラの発生状況及び京都府の対応について

(1) 豚コレラの発生状況について P 2

ア 豚等飼育施設での発生状況

イ 岐阜県及び愛知県における野生イノシシでの確認状況

(2) 豚コレラに係る京都府の対応について P 4

ア 豚等飼養者への対応

イ 野生イノシシへの対応

2 警戒体制について

(1) 飼養者からの通報体制

- ・各家畜保健衛生所が24時間電話受付対応

(2) 府民からの通報体制

- ・ホームページ等で連絡先(振興局、林務事務所)を周知、電話受付対応

とん 豚コレラについて

○概 要

- ・豚コレラウイルスの感染による。高い発病率と致死率が特徴
- ・豚とイノシシの病気であり、人には感染しない。
(豚コレラに感染した豚の肉や内臓を食べても人体に影響はない。)
- ・感染豚や汚染された飼料等との接触により感染が拡大
(鳥インフルエンザのように野鳥で感染が拡大するものではない。)
- ・ワクチンの普及等により平成4年が最後の国内発生（熊本県）
(ワクチンの使用は平成18年に中止され、日本は平成19年に清浄国となる。)
- ・海外ではアジア、アフリカ、中南米等で広範囲に発生が見られる。

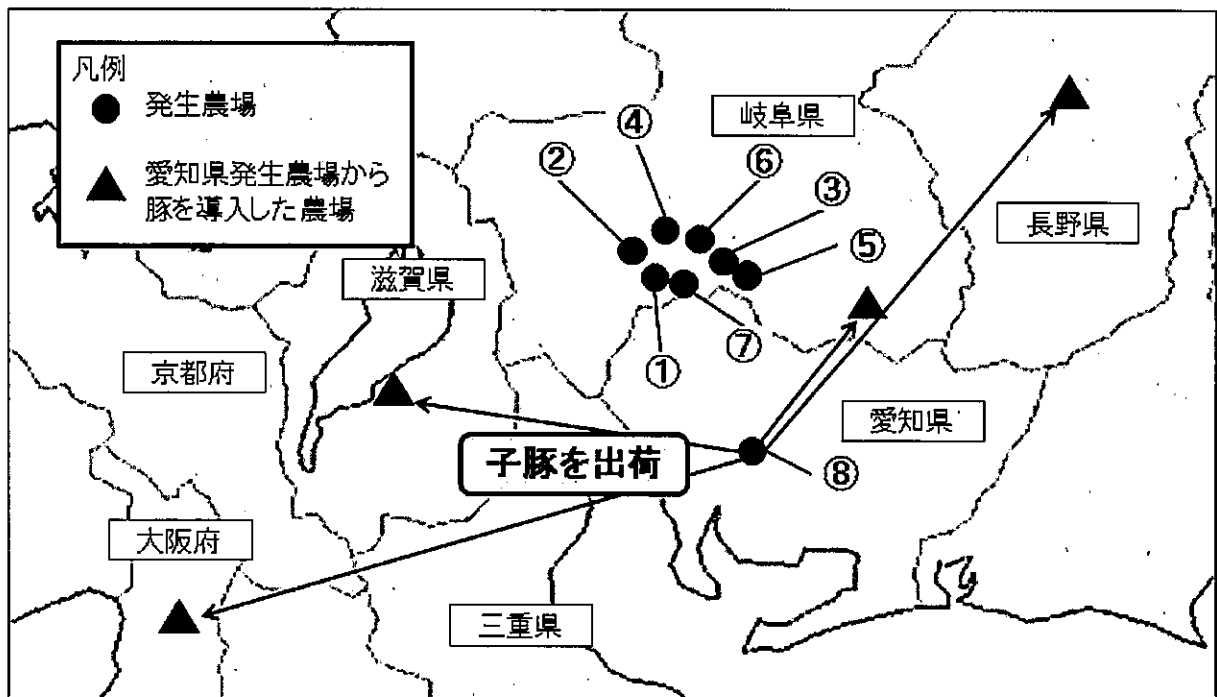
○発生時の対応

- ・発生農場では、家畜伝染病予防法及び国の防疫指針に基づき飼養家畜全頭の殺処分や移動制限区域の設定等、口蹄疫や高病原性鳥インフルエンザと同様の防疫措置がとられる。

〔 感染時期・感染経路が明らかな農場は、発生農場扱いとならず、殺処分は行われるが移動制限等の措置は実施されない。 〕

豚等飼育施設での発生状況

	発生日	発生場所	畜種	頭数	防疫措置状況
①	平成30年 9月9日	岐阜県岐阜市 養豚農場	豚	610頭	防疫措置完了 (消毒ポイント閉鎖)
②	11月16日	岐阜県岐阜市 畜産センター公園	豚	23頭	防疫措置完了 (消毒ポイント閉鎖)
③	12月5日	岐阜県美濃加茂市 岐阜県畜産研究所	豚	503頭	防疫措置完了 (消毒ポイント閉鎖)
④	12月10日	岐阜県関市 イノシン飼養施設	イノシン	22頭	防疫措置完了 (消毒ポイント閉鎖)
⑤	12月15日	岐阜県可児市 岐阜県農業大学校	豚	10頭	防疫措置完了 (消毒ポイント閉鎖)
⑥	12月25日	岐阜県関市 養豚農場	豚	7,547頭	防疫措置完了 (消毒ポイント稼働中)
⑦	平成31年 1月29日	岐阜県各務原市 養豚農場	豚	1,662頭	防疫措置完了 (消毒ポイント稼働中)
⑧	2月6日	愛知県豊田市 養豚農場	豚	6,640頭	殺処分中
—	—	(愛知県発生農場から導入) 滋賀県近江八幡市 大阪府 長野県宮田村 岐阜県	豚 豚 豚 豚	692頭 約700頭 約2,500頭	殺処分中 殺処分子予定 殺処分子予定 殺処分子予定



(1) 豚コレラに係る京都府の対応

ア 豚等飼育者への対応

■ 豚コレラ8例目（愛知県）の発生を受けての対応

- 2月6日 豚等飼養者全戸（41戸：養豚農場10戸、愛玩用のミニブタやイノシシ等飼養者31戸）へ情報提供し注意喚起
→全戸異常なし及び愛知県、滋賀県、大阪府からの豚の導入はないことを確認
- 1月29日～ 豚等飼養者全戸の緊急立入実施中（9月以降3回目）
→と畜場や農場出入り時の消毒及び異常家畜の早期発見・通報を再徹底

■ 発生防止等に向けた取組

① 発生防止対策の徹底

- 情報提供と注意喚起（10回）
 - ・発生事例を豚等飼養者全戸に情報提供し、対策の徹底を喚起（養豚農場10戸、愛玩用のミニブタやイノシシ等飼養者31戸）
- 巡回指導
 - ・養豚農場は毎月1回以上、愛玩用飼養者は2回の巡回を実施し、予防対策の徹底を指導
- 緊急消毒（12月27日完了）
 - ・豚等飼養者全戸の畜舎及び畜舎周囲の緊急消毒
消毒薬量：消石灰1,000kg、消毒薬（パコマ）145L
*緊急消毒完了後も、定期的な消毒を継続実施中
- 対策の更なる強化のための今後の取組
 - ・消毒装置の増設による車両消毒の強化
 - ・電気牧柵の設置による農場へのイノシシ侵入防止対策の強化

② 発生に備えた準備

- ・各地域で発生を想定した農場実地演習、スターターチーム訓練、車両消毒訓練等を実施（8回167名参加）
- ・消毒装置の作動確認や防疫資材備蓄量等の確認を定期的実施
- ・「豚コレラ等に関する府警戒対策会議」を開催し警戒体制を強化（12月27日）

イ 野生イノシシへの対応

■警戒強化の取組

- 市町村、広域振興局、京都林務事務所等を通じた、死亡原因が明確でない野生イノシシを発見した場合の情報提供体制を徹底・強化

※これまでの検査状況

死亡個体のウイルス検査及び抗体検査の実施状況

→亀岡市で1頭陰性を確認

■捕獲強化の取組

- 感染源になる可能性があるイノシシの生息数の半減に向け取組中
猟友会、市町村に対し、計画頭数(14,000頭)を満たすよう一層の捕獲強化を依頼

※ これまでの捕獲状況

有害捕獲(10月末まで): 7,197頭

狩猟による捕獲: 猟期終了後(3月15日)届出に基づき集計